

令和5年度第5回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和6年1月30日（火） 14時00分～15時30分
開催場所	川越市役所本庁舎7階 第1・第5委員会室
出席委員	佐藤陽会長、相澤委員、峯島委員、佐藤敦弘委員、大野一美委員、大島委員、檜村委員、野沢委員、長谷部委員、岡村委員、速水委員、増野委員、森田委員、柳井委員
事務局	福祉部障害者福祉課 忍田課長（福祉部参事）、岡安副課長、野原副主幹、細村主任、矢島主任、渡邊主任 こども未来部療育支援課 佐藤課長、大岩根副課長
欠席委員	齊藤副会長、大塚委員、松本委員、大西委員、大野操委員、山田委員
傍聴人	10人
議題	（1）次期川越市障害者支援計画の策定について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・川越市障害者施策審議会委員名簿 ・資料1 本日の審議会のポイントについて ・資料2 次期川越市障害者支援計画（原案）に対する意見公募手続きの結果について ・資料3 川越市地域自立支援協議会への意見聴取の結果について ・資料4 意見を踏まえた変更点について ・資料5 川越市障害者支援計画（最終案） ・当日配付資料 川越市障害者支援計画について（答申）（案）
審議結果概要	<p>1 最終案に対する意見について</p> <p>審議の中で、以下の意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ページの「行財政改革推進計画」については、「など」に含めていいのではないかと。 ・事業No.79「グループホームの充実」の活動指標について、「日中サービス支援型グループホームの定員数」ではなく、「重度障害者の市内グループホーム利用者数」にしてはどうか。 ・事業No.79「グループホームの充実」の活動指標について、日中サービス支援型に限らず、全体のグループホームの定員数を示す形にしてはどうか。 ・事業No.79「グループホームの充実」の事業概要について、質の向上の具体的な方策まで記載してはどうか。 ・事業No.82「重度障害者に対応する事業所への支援の促進」の活動指標について、市単独補助事業を活動指標に入れてもらいたい。

これらの意見は、事務局で整理し、正副会長に確認のうえ、計画への反映等について調整をすることとなった。

2 その他の意見について

- ・資料3の意見 No. 3について、既存の会議のあり方や中身を考えていただきたい。
- ・重度障害者の子どもを持つ保護者の負担を軽減する施策を検討してもらいたい。
- ・資料5の事業 No. 90「日常生活用具費支給事業の推進」について、購入費用の充実だけではなく、こういった用具が対象となるかについても周知してもらいたい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	【開会】
会長	【あいさつ】
事務局	【出欠席確認】 【会議の成立確認】 【資料確認】
会長	【会議公開の承認】 ※傍聴者 10 名
事務局	議題（1）について、1 報告事項と、2 審議事項に分けて進行する。 1 報告事項として、意見公募手続きの結果と自立支援協議会への意見聴取の結果について説明を行う。 【資料 2、資料 3 に基づき事務局説明】
委員	<p>行財政改革が、今回の計画は色濃く入ってる、施策のところにも影響されてると思う。そんな中でも、質を向上させなければいけないといったエネルギーが感じられない。工夫していくといったような内容が見えない。</p> <p>3 ページに書かれている行財政改革推進計画は、「など」の中に入れてもいいのではないかと。</p> <p>委員の中でたくさん出てきた意見だが、入所支援とグループホームとの関係について、希望者が多い入所支援を入所支援枠で作れないのであれば、グループホームで作るという方向性が見える形で示してほしい。日中サービス支援型だけが重度の方を受け入れるように見えてしまう指標はどうなのか。介護サービス包括型、あるいは外部サービス型がどんなふうに影響をもたらすのか。日中サービス支援型は身体障害の人には効果的だが、強度行動障害の人については実績がない。（強度行動障害の人の受け入れに）一定の実績がある包括型を（活動指標に）入れないで、18 人を障害者の入所施設から移していくという指標だと、そこの連携が計画の中で取れてない。</p>
会長	事務局の方でも確認いただければと思う。
委員	資料 2 の意見 No. 32、事業 No. 80「障害者支援施設（入所施設）の整備」についてで、意見に対する市の考え方のところ、「現時点では本市で入所施設の定員数を増やす考えございません。」となっているが、以前、市の考え方として、事業所で手を挙げるところがあれば考える、みたいなことを聞いた。市はよく県の意向、国の意向ということを行っているが、埼玉県としては、そういう申請が上

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>がったものに対しては国に上げている。国も、作らない、減らす方向でありながら、やはり必要に応じて予算をつけている。川越市でも定員を増やす予定はないが、今後、手を挙げる事業所があれば作る可能性はあるのかというのを確認したい。</p> <p>もう1件、資料3のNo.3で、以前、私も会議の回数が1回しかないのかと確認をさせていただいたことがあるが、自立支援協議会のメンバーの方からも、やはり会議の持ち方について、このままでいいのかという意見が出ている。今現在ある協議会がそれ（ネットワーク会議）に当たるものだと、そこで切ってしまうのではなく、意見が上がったということで、会議のあり方とか中身を考えていただけたらいいのではないかと思う。</p>
委員	<p>資料2の意見を読み、特に重度障害の子どもを持つご両親の気持ち、保護者の気持ちが非常に切実だなと思うことが書いてある。</p> <p>もっと相談体制も充実させていかなければいけないと思う。</p> <p>障害があるお子さんのご両親、保護者の方はかなりの負担だと思うので、市として、ご両親、保護者の負担をもう少し和らげるような施策を考えていただければと思う。全国的にこの辺りが弱い感じがするので、もう少し検討していただければと思う。</p> <p>昼間の活動の就労支援の充実についても、それを支える職員が不足で、支援の質も含めてなかなかといった状況があると思う。障害者の就労支援はやりがいのある仕事だということを、市としてもPRしていただきたいと思う。</p>
委員	<p>資料2の意見No.32から、事業No.82「重度障害者に対応する事業所への支援の促進」に係る意見でNo.39まであがっている。意見No.35では類似の意見を含め85件の意見があり、重く受け止めるべきだと思う。事業No.82で、事業概要に「重度加算制度等の適切な運用に努めます」という書き方をされており、また、資料2の意見No.35の意見に対する市の考え方にも同様の書き方をされている。</p> <p>ただし、重度加算というのは、障害者支援法の中の重度障害者支援加算と、川越市単独補助金の重度障害者補助金の二つの種類がある。ここに関しての文言は変更しないとのことだが、補助金がある部分は、活動指標の中に重度障害者支援加算だけを入れるのではなく、重度加算補助金と入れる方が、これが何施設あるのかと書いておくよりいい。</p> <p>この3年間を検証するためには、とても大切な活動指標になって</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>くると思う。私だけの意見ではなく、近い意見がたくさんあるので、ここの中で活動指標を1個しかあげないで、重度障害者支援加算は精算して後からついてくる、川越市の重度加算補助金は、この人を受けるときに対象となっていくという前向きな補助金になっている。</p> <p>これから、重度行動障害の人たちの行場作りのためには、グループホームと通所施設がすごく連携しなくてはいけない。多分、家庭の中で、例えば強度行動障害の人が病院へ行くといっても、通所の施設と一緒にいくだとか、そんなことも、通所施設は努力していたりもする。</p> <p>やはり、市の思い入れはすごく大事だと思うので、意見が80何件来たのであれば、重度加算補助金といったところを活動指標として入れるのは大切ではないかと思う。</p>
委員	<p>資料2について、この中の意見No. 23、32、35は非常に類似の意見が多かったということが明らかだと思う。その上で、類似の数が多いから少ないから、というのを単純に言うことはできないかもしれないが、多いということはそれだけ切実に感じている方が多い、というふうにも言えると思う。</p> <p>例えばNo. 32の話では、基本的に、行政は国、県、市でそれぞれの役割分担があり権限があるけれども、その上で、市としては、これは県の役割、入所調整は県が行っているというスタンス、これは間違いないと思うけれども、例えば、計画には盛り込めないけれど、皆さんの要望が強いのであれば、市としても慎重に考えて、県に対して要望してまいりますとか、そういったスタンスを持っていた方がいいと感じている。</p> <p>私は、実は県の方に長く勤めており、県としてできないこと、できることが当然あるわけで、その中で、できないことであっても、それが本当に必要だろうというものについては、国に対して要望してまいりますというスタンスでやってきた。そういう、本当に切実な方が多いものであって、なおかつ、市として必要と感じるのであれば、それを何とか吸い上げていこうというスタンスを持ってほしいと思う。</p> <p>ただ、計画にこれを載せるかどうかというのは、非常に難しいので、その辺はちょっと省かせてもらおう。</p>
会長	<p>市の方での報告事項に関して、皆様からご意見をいただいております、それぞれの委員の方から出たものは、ここまでの計画を作って</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	いく中で重複する面もあるが、大事な点でのご指摘をいただいていると思うので、こうした意見を受け止めていただいて、反映できるものは調整いただきたいと思います。
事務局	意見を踏まえた変更点等について説明を行う。 【資料4・5及び当日配付資料に基づき事務局説明】
委員	<p>資料5の59ページの成果指標に、「重度障害者の市内グループホーム利用者数」が載っており、現状値が121、目標値が180となっている。それに関連した事業で、82ページの事業No.79「グループホームの充実」の活動指標として、「日中サービス支援型グループホームの定員数」が挙げられている。</p> <p>先ほども別の委員から意見があったが、重度知的障害者にとっても、また、発達障害や精神との重複障害者にとっても、日中サービス支援型は、実際には生活介護や就労支援B型の作業所、また、身体障害者の人はリハビリセンターに通うなど、日中グループホームに残ってる人はほぼいない状態になっている。昼間活動し、夜は休むという暮らしを利用者も求めている。日中サービス支援型を含め、重度障害者の市内グループホーム利用者数の実績値121、目標値180を活動指標に入れてはどうか。事業の活動指標にあることで振り返る際の評価もできると思う。この活動指標が日中サービス支援型だけになっているのは、日中サービス支援型グループホームや介護サービス包括型の実態とは合っていないと思うので、ぜひ、そこは全体のグループホームというようにしていただきたいと思う。</p> <p>59ページで成果指標にあるからいいのではないかと、という意見もあるかと思うが、事業としてあげられていないと、振り返りの評価もできないので、しっかり事業としてあげていただきたいと思う。</p> <p>また、No.79の事業概要で、「グループホームの整備促進および質の向上に努めます」という文章があるが、どのようにして質の向上に努めるのかというところで、「質の向上に努めるため人員体制や研修、家賃や食費が適正かなどのチェックをします」ということを付け加えたらどうか。</p> <p>いろいろと株式会社が経営するグループホームで、食費のことや適正でないというようなことが問題になっているので、そのことも含めしっかりチェック体制をつくり、障害者福祉課でやっていただきたいと思う。</p>
委員	同じ内容で恐縮だが、先ほど別の委員が言われた事業No.79について、最初の成果指標、次に82ページの暮らしの場の充実、次に

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>109 ページでサービス見込量、これらは連携していると思う。</p> <p>109 ページの共同生活援助、これがグループホームのことだと思うが、その中で、うち精神障害者の共同生活援助という数値も上がってきている。令和6年度は98で22名増え、令和7年度は14名、令和8年度は17名、合計で53名増える見込みになっている。また違う見方で、日中サービス支援型が65から110名になっている。三つとも何か視点が、いろいろな言葉があって本当は整合性を持つてはるはずなのに、ちょっと分かりづらいということにならないか、すごく気になる。グループホームは、もし詳しく言うのであれば日中サービス支援型が平成30年度にできた一番新しい制度、前からあるのが介護サービス包括型、これも最近かもしれないけど、外部サービス利用型といったところだが、(日中サービス支援型は)全国的にもまだ3,000人ぐらいしか利用しておらず、川越市でもまだ2ヶ所。そこの成果は精神と身体は一定程度あるかもしれないが、強度行動障害に対しては利用が少ない、あるいは知的障害者の利用はあるが、そこの日中支援を受けるのではなくて、通所して生活介護の事業所に通ってるといったところが多いと思う。</p> <p>活動指標に日中サービス支援型だけを書くと、やはり足りないと思う。医療連携体制加算は(類型に関わらず)共通だと思うが、(定員数は日中サービス支援型だけとするのは)不思議な書き方でわかりづらい。やはりこれは3つのグループホームを書くか、あるいはグループホーム全体として書くか、あるいは括弧で、型の種類を書くか、少し整理していただけないか。</p> <p>見ていて、やはり、通常のグループホーム一つ見ても、いろいろな表現があるのでちょっと分かりづらく、数値的にもいろいろ出てくるので分かりづらいといったところが正直なところで、変更をお願いしたい。</p> <p>それと、入所施設で、今増えている介護、いくつが増えているかというと、介護6が増えているが、入所施設のところの利用者は介護6が膨らんでいる、それだけニーズが高い。グループホームのところは横ばいだと思っているが、やはり、成果は全国的にも出ていない。その中での施策作りなので、先ほど言ったように、グループホームの18名の移行を見込んでいくのであれば、やはり一つの施設類型を言うのではなく、3類型とも出していくという方が適当ではないかと思う。</p>
委員	資料5の事業No.90「日常生活用具費支給事業の推進」について、

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>事業概要には、「購入や修理に係る費用の支給を充実します」とあるが、来年度以降、具体的にどのくらいの支給が増加するのか。また、日常生活用具にどのような物があるのかちょっと分からない部分があったりもするので、ぜひ、障害福祉課の方に、購入費用の充実だけではなく、私達に知らせて欲しいと思っている。そのようなことをやってもらえたらいいと思う。</p>
事務局	<p>まず、日常生活用具の件について、予算的に、昨年度と同等かそれ以上をこれからの議会に出すわけだが、どういう品目か買えるかといったことは、障害者のしおりなどに載せている。</p> <p>以前、委員からも、新しいものがどんどん出てくると思うが、こういった決まり方をするのか、こういったものも検討して欲しいという話があった。いろいろなところで要望があれば、大体3年に一度、日常生活用具のこういったものを新たに、支給の物品に入れるかといった検討をしていくので、そういったものが決まったら、障害者のしおりの方に、わかりやすく載せていきたいと考えている。</p>
事務局	<p>先ほど意見をいただいたNo.79の活動指標について、日中サービス支援型は国の方で平成30年度に重度の方を受け入れるために始まったものだが、確かに、それだけではないということもあり、委員から提案のあった全体のグループホームといったところを検討して、後で修正を加えたいと考えている。</p> <p>修正については、申し訳ないが、会長と事務局とで調整させていただきたいと思うがよろしいか。</p>
会長	<p>客観性を持たせるために、正副の会長に確認をすること。</p> <p>今、事務局が事前に伝えてくれたが、意見をどのような形で反映できるかは、後ほど、事務局と調整し、正副の会長でも確認をして、どのような形で掲載することが望ましいかというところで示せばと思う。</p> <p>全体を包括的に統合的にわかりやすく、要望を踏まえながら計画を示していくということで、色々な課題もある中で、ここまで相当の議論を重ねていただいた。この資料4、5については、よろしいか。</p> <p>進め方としては、この後、市長への答申を行うが、本日意見をいただいた部分がある。いただいた意見については、事務局でしっかりと検討し、整理をして、正副会長に確認を行ってもらい、事務局との調整をもとに、答申を示していくという形で進めることについて皆様のご了解をいただいてもよろしいか。</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
委員	先ほどの資料2の意見 No. 32 に付随するものとして 85 件の意見があった「知的障害者障害福祉サービス事業者重度加算等補助金」についても、意見が多かったことと、委員から意見があつて、どう扱うかは、事務局の方でお願いしたい。
委員	先ほど、意見 No. 32 について、川越市では入所施設の定員を増やす予定はないが、今後、手を挙げる事業所があれば作る可能性はあるのかというのを確認したいと言ったが、今この場で、確認はできるのか。それとも、後日、回答していただけるのか。
事務局	意見 No. 32 について、なかなか増やす計画を作っていないので、相談があったところまで踏み込んだ書き方はできないと思うが、この文章の中で、「また、現時点では、本市で入所施設の定員数を増やす考えはございません」と、ちょっと冷たいような表現があると思う。こちらについては削除したいと考えている。
会長	先ほどの確認どおり、意見を事務局の方でとりまとめ、整理をしたものを正副会長の方で確認をして、答申の提出に上げていきたいと思う。 こうした進め方について、了承いただいてよろしいか。
委員	(異議なし)
会長	その他について事務局からお願いしたい。
事務局	【その他】 次回の会議については、令和6年5月頃の開催を予定している。正式な案内については、4月以降に通知させていただく。
会長	先ほどもお伝えしたように、この支援計画の策定に向けて、ここまで皆様から多くの意見をいただきながら、最終案を皆様のお力のもと、まとめていくことができた。 一部の意見については反映するか、事務局の方でも整理をしてもらい、私と齊藤副会長の方でも確認をして、答申に上げていきたいと思う。
	以上